

	意見・提言・感想等	回 答
1	<p>令和4年6月22日(水)、23日(木)、24日(金)本会議が開催され、傍聴いたしましたので、感想・提言をいくつか記述します。</p> <p>1. 議事堂の発言伝達装置(システム)は、すみやかに改善が図られ、満足をしております。傍聴席にも端末器がセットされ対応の機敏さと、心くばりに感謝を申し上げます。</p> <p>2. 電子地域通貨導入事業予算額572,510千円は弱者にも心のぬくもりが享受できますよう、特段の配慮をお願いします。</p> <p>高齢者のスマホアレルギーは想像をこえるものがありますので、誰一人取り残されないための具体的な対策が必要と思われるます。</p> <p>3. 一般質問に関しては、多くの提案がありました。その一部の事項について、私見を述べさせていただきます。</p> <p>(1) 桐生版「地域担当員制度」の創設について</p> <p>首長は「現場に神宿る」「現場(地域社会)主義」出向く行政の推進をモットーにしております。</p> <p>自治体職員は地域を足で歩き、自分の目で見て、土地の人びとに耳を傾け、対話する。地域の人々が何を希求しているのかをとらえ、それを一つの施策として結実させる。これこそ地域政策は本物になり、市民に支持されることとなります。</p> <p>手間のかかる建前の計画書、無意味と思われる会議、組織を維持するための調整会議をコンパクトにかえて、現場へ出よう。急激な人口減少がもたらす、事業環境の変化を受け、公共施設の再編成や減量運営等の諸対策が求められます。「地域担当員制度」は未来社会に対応する重要政策の第一歩と考えます。</p> <p>(2) 水沼診療所は8月上旬再開の目途が明らかにされ、うれしく思います。地域社会に欠かすことのできない医療機関は市民にとって切実な願いであります。持続的維持運営が図られるための支援が重要でありましょう。</p> <p>(3) 水道事業・下水道事業について</p> <p>命の水は元宿浄水場と梅田浄水場(令和3年4月供用開始)の施設機能ベストミックスにより安定供給されている。</p> <p>元宿浄水場は開設以来、すでに90年を経過しました。未来永劫その役割を担うことはできません。命の水をいかなる政策・手段をもって力強く守りぬくのか。近未来に向けての明確なビジョンの公表を望みます。更に、境野水処理センターストックマネジメント全体計画は示されましたが、相生、広沢、新里地区を担う、桐生水質浄化センターの施設計画はどのように具現化されるのかもお示し下さい</p> <p>(4) 新里町における地域振興のあり方について</p> <p>新里町における各種データの推移と分析により、新里町の強みがうきぼりになりました。久保田議員による新しい試みに感動を覚えました。かつて、経済学者が主張していた「地域経済再生・発展の基(もと)は農業の役割が大きい」という教訓を思い出しました。</p> <p>歴史を振り返ると。山田郡毛里田地区、新田郡藪塚本町地区、最近ではみどり市地区との広域合併が不調に終わったことは桐生にとって、大きな誤算であったように思われてなりません。</p> <p>更に、平成16年(2004年)9月、わたらせ農業協同組合が多額の不良債権で再建を断念し、解散を余儀なくされたことも</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>一般質問等につきましては、各個人の見解・提案等でありますので、議会としての回答は差し控えさせていただきます。</p> <p>いただいたご意見は、各議員・当局にお伝えします</p>

暗い影をおとしました。

結びに、未来を見据えた地域復興に対する首長のビジョンが語られ、市民にとってほっといたしました。

(5)市庁舎建設について

関口議員の質問に対する答弁が分かりづらかった。合併特例債制度の仕組みをくわしく説明することが極めて大切なことであり、合併特例債の返済予定年年数が長期化傾向にあることもポイントとされます。日本の財政悪化を受け、制度じたいが微妙に変化しているようにも考えられます。極力、早口をあらためられ、語尾を明瞭にすることに心がければ誤解をうむことはなくなると思料します。

(6)全体を通しての提言

医療費、学校給食無料化等の提案がありました。市民の要望通り、何でもやれば自治体は間違いなく倒れるでしょう。会社にたとえれば、市長は社長、議員は取締役、経営責任は連帯です。最近の日本はかつて経験したことがない危機的状況にあります。自治体に取り組むべきことは、社会インフラコストの縮減と考えます。価値基準をきめて、キャッシュ・フローを生まない市民生活に影響を及ぼさない施設の処分、現有施設の中で大型施設のライフサイクルコストの試算、財政とのバランスを考え適切に維持管理に努めることを切望します。

管理方法として現有施設の年度別資産合計額と減価償却累計額を積算する。減価償却累計額は将来の更新に対する準備額にあたり、その何割かを基金として積み立てることが重要であります。

資産の管理・更新には将来に向けたしっかりした計画が必要となります。

(7)財政調整基金の推移からみる桐生市財政の余裕度 指数

2015年(平成27年度)	54.0億円	100
2016年(平成28年度)	49.6億円	92
2017年(平成29年度)	42.5億円	79
2018年(平成30年度)	38.4億円	71
2019年(令和元年度)	36.8億円	68
2020年(令和2年度)	33.9億円	63
2021年(令和3年度)	35.7億円(見込み)	66
2022年(令和4年度)	29.8億円(見込み)	55

※2015年を100とすると2022年はやや半減の55

※余裕度は悪化傾向が続く

4. 令和4年度一般会計歳入歳出予算からみる日本の財政状況について

一般会計歳入総額1,075.964億円に占める公債金369,260億円の比率は34.3% 約1/3 赤字国債でまかなうことになった。

令和4年度 議会モニター意見 (7月分)

	<p>一般会計歳出総額に占める国債費は243,393億円比率は22.6%の施設利払費は82,660億円に達し、防衛費の53,687億円。公共事業費60,575億円を上回る予算編成となった。</p> <p>国債の発行残高は約1,000兆円、地方政府の借金である地方債の発行残高は約200兆円。国と地方を合わせるとその総額は1200兆円に達します。</p> <p>現在、日本は巨額の責務を抱かかえており、金利が上昇した時の悪影響を懸念しております。日銀による量的緩和策により金利が低く、抑えられているものの年間の利払費は8兆円程度です。インフレが進み、物価が上昇すれば、大幅に増加し、補助金が大きくカットされることが危惧されます。最悪の危機の発生に備えるリスクマネジメントが極めて重要な政策事項に思われてなりません。</p>	
2	<p>議会モニターになって、初めて議会の定例会を傍聴させていただきました。</p> <p>大変皆様真剣、活発に質問と答弁をされて感心しました。その中で思ったのは、貴重品種のカッコソウの事は、新聞記事や広報などで知っていましたが、桐生市の花「サルビア」は良く知らなかったと少し残念な気がしました。</p> <p>最後に、水沼診療所が再開に向けて準備されていると良かったと思います。町に医療がないのは不便で心配していたので安心しました。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>一般質問等につきましては、各個人の見解・提案等でありますので、議会としての回答は差し控させていただきます。</p> <p>いただいたご意見は、当局にお伝えします。</p>
3	<p>議会がこんなにも長時間おこなわれていることに驚いた。</p> <p>議会には多くの方が出席していたが、あれだけの人数が1度に出席することに意味があるのか疑問を感じた。回によっては、発言がない場合もある。そういった時は、時間が無駄になっているのではないかと感じた。</p> <p>議題の中には、議会で話すにあたいすべき事項でないこともあったように思える。私が行った時に桐生市の花についての議題が上がっていた。大事なことなのかもしれないが、あれだけの多くの人の時間を使って話すことではないように思える。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本会議は原則として議員定数(22人)の半数以上の議員の出席が必要です。</p> <p>議案審議につきましては、発言のない議員においても、すべての議案を事前に確認しておりますので、発言のない場合もございます。</p> <p>一般質問につきましては、議員が市政全般の多岐にわたって質問いたしますので、質問内容に関わっていない行政側の職</p>

令和4年度 議会モニター意見（7月分）

		員も出席しております。 なお、一般質問等につきましては、各個人の見解・提案等でありますので、議会としての回答は差し控えさせていただきます。
4	<p>23日、24日に行われた一般質問について、傍聴できなかったためインターネット配信にて視聴しました。議会のHPについて、質問項目だけでなく要旨も記載されており、議員さんごとに動画もわかれているため、自分の気になった項目を視聴しやすいと感じました。</p> <p>インターネット配信の動画について、実現が難しいと思いますが、字幕もつけるとより理解しやすいのではと感じました。</p>	ご意見ありがとうございます。